

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4420
24年2月2日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

郵政ユニオン九州地本 第12回地方委員会開催



おはようございます。2月に入り、梅のつぼみが膨らみはじめ、春が近づいているように感じます。1月27日に郵政ユニオン九州地本第12回地方委員会を長崎中央郵便局第二会議室で開催しました。

はじめに米地委員長から、去年の23春闘ではストライキを構えた運動を展開し、一定の成果を得ることができました。しかし賃上げ額は、それまでの物価高騰に追いついておらず、労働者

の生活改善には至っていません。24春闘でもみんな力を合わせて頑張りましょう、と開催の挨拶がありました。

来賓の石野中央本部執行委員は、今年秋には30年ぶりとなる郵便料金の値上げが行われると発表され、国民の「郵便離れ」が加速することが予想されます。ヤマト運輸との協業による物量増加で人手不足にも拍車がかかると見込まれ、職場には今後の郵便事業に対する不安が広がっています。

郵政ユニオンは現状を踏まえ、大幅賃上げ・大幅増員などを要求していきます、と述べられました。



その後、春闘課題をはじめとした中央委員会への対応を中心に議論し活発な討論が行われました。出された意見を一部抜粋して紹介します。

○要員関係
郵便・物流部門ではEC

市場やフリマ市場の拡大で取扱量が増加している一方で要員確保が追いつかず、勤務時間前着手や休憩をきちんと取れない状況が横行しています。ヤマト運輸との協業により更に取扱量が增加するため、大幅な増員を求めます。

また、貯金事務センター支部からは、通年を通して応援が必要な部署があるため、人員の補充を要求します。

○社員の待遇改善

一般職の基本給の更なる引き上げが急務です。住宅手当が廃止され、同じ正社員でも地域基幹職との間に賃金格差があります。一般職の待遇が悪いと正社員登用試験を受けたいと思う人が減るのではないのでしょうか。

シニアスタッフの基本給に関して、業務内容がほぼ変わっていないにも関わらず賃金が下がるのは問題。大幅な基本給改善が必要だと考えます。

○人間ドック

人間ドックの受診にあたり、正社員は特別休暇になるが、非正規社員は年休等自分の休みを使わなければならないのは差別ではないでしょうか。



○JPビジョン2025

業務のデジタル化により高齢の社員には難しく感じることがあります。集配においては2月から運用が始まるポスタルモバイル端末に不安があり、支援体制が必要とします。

日本郵政グループは6兆円の内部留保を持っていきます。これを3%取り崩すだけで組合の要求する賃上げが実現できます。

物価上昇で実質賃金の低下が止まらず、私たちの生活は悪化の一途を辿っています。地域の共闘団体とも連携し、運動を展開していきます。

また地方委員会では、新しい試みとして学習の時間も取り入れました。今回は、消費税増税をテ

ーマとする「君たちはまだ長いトンネルの中」の視聴でした。高校生たちが日本の未来を問う青春映画で、視聴後に意見交換を行いました。

私は、どうせ何も変わらないからと何かに身を任せサイレントマジョリテイのままでは自分たちの要望は通らない。自分たちに何ができるのか考え、行動を起こさなければいけない、と映画を見て感じました。

活発な討議が行われた委員会は、米地委員長の団結ガンバローで締めくくり終了しました。



今後は中央委員会を経て、春闘方針が決定します。要求実現を勝ち取るために、郵政ユニオンは全力で今春闘をたたかいます。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を主眼の正社員化を。ゆえに、均等待遇をなくす差別。ユニオンは労基法裁判に勝利を！